

令和6年12月20日

各位

豊橋信用金庫

東海研究開発1号投資事業有限責任組合へのLP出資について

豊橋信用金庫（理事長：山口進）は、このたび下記ファンドにLP（有限責任組合員：出資者）として出資することになりましたのでお知らせします。

記

1. ファンドの概要

岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人東海国立大学機構（以下、「機構」）の孫会社である株式会社 Central Japan Innovation Capital（本社：愛知県名古屋市）が、ディープテック×B to Bをテーマとするスタートアップへの出資・事業支援を行う1号ファンドです。

名称	東海研究開発1号投資事業有限責任組合 (英語名：Central Japan Innovation Research Fund I, LPS)
想定ファンド規模	50～100億円
投資対象	国内外のシード・アーリーステージを中心としたディープテックスタートアップ
無限責任組合員(GP)	株式会社 Central Japan Innovation Capital (CJIC)
有限責任組合員(LP)	愛知県、名古屋市、事業会社、金融機関 等
運用期間	2024年11月30日より10年間（最大5年の延長あり）
投資方針	<ul style="list-style-type: none">ディープテック（情報技術、モビリティ、AI・ロボティクス、材料・半導体、ライフサイエンス、モノづくり（生産工学等）、アグリ等）領域において、テクノロジーによる社会課題解決を目指すスタートアップへの投資と事業支援を行う。大学発スタートアップを中心に、国内外の有望なシード・アーリーステージを中心としたスタートアップが投資対象。必ずしも東海地域発のスタートアップである必要はなく、「東海地域に大きなインパクトを与えうるか」を判断材料の1つとする。

2. 当金庫の出資について

- 当金庫は、同ファンドのファーストクローズ（ファンド総額 33 億円）において、LP 出資者として参加しました（出資額は未公表）。
- 当金庫は、地域の将来を担う新たなディープテックスタートアップの発展を支援するとともに、産学連携等の推進にも一層力を入れて参ります。

以上